

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

なか がわ こう ぶん かん おか やま けん や かげ ちょう もと ほり きよ てん
中川公民館(岡山県矢掛町本堀)を拠点
に地域活動を手伝う中高生グループ「T
EGO隊」が今年、誕生から10年を迎えま
した。記事を読み、質問に答えましょう。

「中川盛り上げる」

矢掛町本堀の中川公民館を拠点に、地域活動の手伝いをする地元の中高生グループ「T E G O 隊」が今年、誕生から10年を迎えた。当初は行事のボラ

ンティアが主な役割だったが、今では自分たちでイベント企画から運営までこなし、地域を引っ張る存在に成長している。(入野晶彦)

矢掛の中高生「T E G O 隊」10年

TEGO 隊は、高月憲二郎館長(75)が「地域行事を手伝うことで社会教育施設の公民館に関わってほしい」と、当時の中学生に呼び掛け4人で結成。「TEGO」は岡山弁

で同公民館で行うことや出店の立案、話し合いの日程調整まで全て自分たちで決めてきた。あとは当日を待つばかりとなっている。

「今年も中川を盛り上げていきましょう」。11日に開催するTEGO 隊主催の夏祭りまで1週間余りとなった3日、打ち合わせの会議で、夏祭りリーダーの矢掛高2年佐藤史弥さん(16)がメンバーに呼び掛けた。

地域のリーダー役に 催し企画、運営も



11日に開催する夏祭りに向け、話し合いをするTEGO 隊と高月館長(右から3人目) = 3日

活動着の黄色のTシャツで延べ104人。第1期生で、岡山大学院生川西志歩さん(24)は「行事の司会を手伝った際、町長の名前を緊張しながら読み上げたことは良い思い出」と振り返る。

「夢は矢掛に演劇文化を根付かせること。演劇で地元を盛り上げたい」と目標を語る。

「いつか矢掛へ戻って地域を引っ張る人材が出てきてくれれば」と期待する高月館長の思いは、OB・OGに確実に届いている。

「活動着の黄色のTシャツで延べ104人。第1期生で、岡山大学院生川西志歩さん(24)は「行事の司会を手伝った際、町長の名前を緊張しながら読み上げたことは良い思い出」と振り返る。

11日付山陽新聞、笠岡・井原・浅口圏版

Q1

岡山県矢掛町で活動する「TEGO 隊」の「TEGO」はどんな言葉にちなんでいますか。第4段落に注目です。

Q2

TEGO 隊は当初、敬老会や運動会など行事のボランティアをしていましたが、今ではどのような内容にまで活躍の場を広げていますか。第1、4段落から読み取りましょう。

Q3

TEGO 隊は地区の子どもたちにとって、どんな存在になっていますか。

過去の問題はこちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。